

児童養護施設 東光虹の家 令和3年度 事業計画

適切な養育環境で、安心して子どもたちが生活できるよう、子どもたちを受け止め、寄り添い、子どもたちと共に成長をすることを目指す。一人一人の子どもの状況を把握し、丁寧にきめ細やかな養育を行う。職員が相互に理解し、協力のもとそれぞれのユニットの特徴を生かし、家庭的な環境で子どもたちを育てる。

I 中・長期計画に基づく事項

法人理念、東光虹の家の施設理念・基本方針を実現するために策定した中・長期計画に基づき、令和3年度の事業計画を次のように策定する。

1 社会的養護の養育・支援計画

(1) 施設の家庭的養護の推進

課題：

- ・子どもたちの意見を反映した環境づくり
- ・家庭的な養育環境の提供
- ・地域小規模児童養護施設の運営継続、地域分散化の摸索

目標：

- ・子どもたちの意見の吸い上げ方を確立する
- ・子どもたちの生き立ちを理解しながらの養育支援
- ・地域分散化の方法について検討する。

(2) 被措置児童等虐待防止や体罰禁止等の権利擁護

課題：

- ・被措置児童等虐待防止マニュアルの職員への周知と活用
- ・権利擁護について、権利ノートを活用

目標：

- ・被措置児童等虐待防止マニュアルの活用方法について考え、運用する。
- ・児童ユニット会議にて、権利ノートを利用して児童の権利について説明する。

(3) 専門的ケアの強化

課題：

- ・被虐待児、発達障害児、知的障害児等専門的ケアを必要とする児童が多い。
- ・特徴のある児童の入所が多い中、入所時の関わりと、入所時、その後の支援に関するアセスメント方法がない。

目標：

- ・各職種間で連携し、統一した支援を実施する。
- ・入所時とその後の支援に関するアセスメント方法を確立し、活用する。

(4) 性教育の充実

課題：

- ・ 児童への性教育の実施
- ・ 職員の性教育における知識習得
- ・ ユニット化に伴った性教育。

目標：

- ・ 性教育の年間プログラムに沿った実施
- ・ 職員への性教育の取り組みへの理解と習得

(5) 食育の充実

課題：

- ・ ユニット化に対応した衛生管理マニュアルが十分に理解されていない。
- ・ 職員と児童に向けた食育が十分に実施できていない。
- ・ 発達に応じた食事形態について理解が不十分

目標：

- ・ 衛生管理マニュアルの周知・徹底
- ・ 嗜好調査の充実
- ・ 職員と児童に対する継続的な食育
- ・ 発達に応じた食事形態での食事提供

2 組織体制について

(1) 権利擁護（苦情解決、個人情報の保護）の推進

課題：

- ・ 個人情報保護についての意識が薄い。
- ・ 苦情・要望に対する課題の解決に対する取り組みが十分でない。

目標：

- ・ 定期的な研修等を通じて職員の個人情報保護についての意識を高める。
- ・ 苦情・要望として挙げられた課題について改善にむけた取り組みを行う。

(2) 透明性確保の促進

課題：

- ・ 第三者評価受審による改善すべき課題の見直しができている。
- ・ 財務に関する知識が職員に乏しい。

目標：

- ・ 第三者評価基準の学習会を実施し評価基準の内容を理解する。
- ・ 自己評価で C 評価だった項目について話し合い改善に向けて取り組む。
- ・ 財務に関する公表を行っていく。

(3) 業務の標準化・改善のシステム化

課題：

- ・標準化されていない業務がある。
- ・改善する仕組みが整っていない。

目標：

- ・標準化されていない業務について、標準化を図るためマニュアルを整備する。
- ・改善する仕組みを整える。

(4) 家庭支援体制の強化

課題：

- ・アフターケアマニュアルの活用と見直しを行う必要がある。
- ・児童相談所、こども家庭相談室と連携した家庭復帰支援計画、退所後支援計画の策定と支援が出来ていない。

目標：

- ・アフターケア体制を確立する。
- ・アフターケアマニュアルの活用とマニュアルの点検体制を確立する。
- ・児童相談所、こども家庭相談室と連携した家庭復帰、退所後支援を行う。

(5) 里親支援体制の強化

課題：

- ・里親委託後の児童状況の把握
- ・里親支援体制を整える必要がある。

目標：

- ・里親委託後児童のアフターケア支援を実施する。
- ・里親委託に向けてマッチングの調整や里親養育実習の受け入れを行う。

(6) 地域支援の拠点機能の強化

課題：

- ・地域の子育て支援の充実を図る。
- ・地域における公益的な取組が実施できていない。

目標：

- ・ホームスタートの活動を充実させ、地域の子育て支援を行う。
- ・なんでも福祉相談の体制づくりとして、地域の他施設と連携をとれるようにする。

(7) 災害事故対策の推進

課題：

- ・事故防止の意識づけをしていく必要がある。
- ・防犯対策が不十分である。
- ・事業継続計画（BCP）の見直しと周知徹底をする必要がある。

目標：

- ・ 職員の事故に対する意識の向上
- ・ 安心した生活ができるよう防犯対策に努める
- ・ 事業継続計画（BCP）の点検、活用
- ・ 危機対応マニュアルの見直し、周知、活用

3 設備の整備

(1)施設整備

課題：

- ・ パソコン内の整理が必要である。
- ・ 計画的な設備点検がされていない。
- ・ 職員及び児童に安全教育をする必要がある。

目標：

- ・ 業務の効率化を図るためパソコン内の整理を行う。
- ・ 設備点検の項目、時期を定め、計画的かつ漏れのない点検を行う。
- ・ 安全教育を実施する。

(2)災害事故対策

課題：

- ・ 災害時における食事の提供マニュアルが運用されていない。
- ・ 災害時に地域の避難者受入を想定した備蓄品が不十分である。

目標：

- ・ 災害時における食事提供マニュアルに沿った提供の確認

4 職員体制について

(1)職員配置計画

課題：

- ・ 国の示す職員配置の状況が十分とは言えない中、職員の増員を求める声が多い。
- ・ 児童処遇において単独での支援となることが多い。

目標：

- ・ 職員に職員配置基準について理解してもらえるような機会を作る。
- ・ 児童処遇において連携が取れる体制づくりをする。

(2)役割分担（責任体制）

課題：

- ・ 職務分掌を理解し、活用できていない。

目標：

- ・ 職務分掌の内容を理解し、自らの責任を果たす。

5 人材育成

(1) 研修

課題：

- ・職員研修実施要綱が活用されていない。

目標：

- ・職員研修実施要綱を活用し、個人の研修計画の作成を目指す。

(2) スーパービジョン

課題：

- ・SV体制が明示されたが、OJTの実施が不十分である。

目標：

- ・SV体制を基本とした、OJTの充実を図る。
- ・ふりかえりノートが活用できるようにする。

(3) 権利擁護

課題：

- ・権利擁護の観点からの支援方法が明確でない。
- ・適切な養育支援、入所者に対する不適切な関わりについて明確に示されていない。

目標：

- ・適切な養育支援内容について明確にし、職員に対する教育に努める。
- ・全養協児童養護施設における人権擁護のためのチェックリストの実践と項目内容の勉強会を実施する。

6 職員処遇

課題：

- ・職場環境の改善に向けた取り組みを継続して検討していく必要がある。

目標：

- ・職員意識調査結果をふまえて、働きやすい職場環境を考え、定期的なグループワークの実施。(各ユニット会議、職員会議等で実施)
- ・相談しやすい体制作り努め、あわせて社労士への相談窓口を活用する。

II 定数

令和3年度の児童の定数は、本体施設40名、地域小規模児童養護施設6名、合計46名とする。

III 職員配置 合計42名(常勤38名、非常勤4名)

施設長1名、事務員1名、児童指導員・保育士(常勤)27名、(非常勤)1名、家庭支援専門相談員2名、個別対応職員1名、心理療法担当職員(常勤)1名、(非常勤)1名、栄養士1名、調理員等(常勤)4名、調理員(非常勤)1名、嘱託医(非常勤)1名

IV 会議、委員会

次に掲げる会議・委員会を実施し、職員が連携しながら円滑な運営を行うよう心がける。

職員会議 月 1 回

リーダー会議 月 1 回

ユニット会議 (ケースカンファレンス) ユニットごとに週 1 回

ソーシャルワーク会議 月 1 回

調理会議 月 1 回

心理担当者会議 月 1 回

公文会議 月 1 回

緊急会議 問題行動、入退所の検討等必要に応じて開催

性教育委員会 月 2 回

V 年間の行事予定

施設行事、研修、実習受け入れに関する行事等の予定は「令和 3 年度東光虹の家・こどもの家童夢年間行事予定表」のとおりとする。この他に希望児童を対象に、地域のスポーツ活動、スイミング教室、茶道教室に参加。ユニットごとに夏休み児童外出、季節の年中行事、誕生会、児童外食を実施する。

令和3年度東光虹の家・こどもの家「童夢」年間行事予定表

月	日	法人的行事等	日	東光虹の家・こどもの家童夢行事等	担当者	日	研修			日	実習	
							研修名	主催	出席者		学校名	人数
4	1	辞令交付		避難訓練 ゴールデンウィーク外出 群養協理事会	増田・中島		福祉施設等新任職員研修	県社会福祉協議会				
5		法人監事監査 第1回理事会		ゴールデンウィーク外出 デイキャンプ 母の日行事 避難訓練 群養協ドッチボール大会 消防用設備総合点検	飯田・永島		福祉施設等新任職員研修 福祉施設等中堅職員研修 I	県社会福祉協議会 県社会福祉協議会		20～ 31	大泉保育福祉専門 学校	2名
6		全体会議 法人内職員研修 合同避難訓練 評議員選任・解任委員会 第1回評議員会 第2回理事会 第三者委員への苦情解決報告会		児童健康診断 避難訓練 父の日行事 児童外食 太田BBS会交流ボウリング大会	濱村・藤生		福祉施設等中堅職員研修 I	県社会福祉協議会		1～ 12 28～ 7/10	東京福祉大学 近畿大学九州短期大学 通信教育部保育課程連携校 フラスコ・ユークリオン専門学校	1名 1名
7	1	広報誌発行 ホームページ更新		熊野町夏祭り 夏期休暇特別日課 夏の旅行 避難訓練	川島・河村		群養協第1回職員研修 SBI児童養護施設職員研修 関東ブロック児童養護施設 研究協議会 福祉施設等中堅職員研修 II	群馬県児童養護施設連絡協議会 SBI子ども希望財団 関東ブロック児童養護施設協議会 県社会福祉協議会		12～ 24	高崎健康福祉大	2名
8		合同納涼祭	1	児童個人面接開始 避難訓練 夏季一時帰省 未帰省児童外出 群養協ソフトボール大会 国立赤城青少年交流の家 保育レクリエーション	平野・五十部		福祉施設等中堅職員研修 II	県社会福祉協議会		9～ 9/30 16～ 9/11	群馬医療福祉大 佐野日本大学短期 大学	2名 1名
9		スキルアップセミナー	1	自立支援計画作成 避難訓練 老人ホーム慰問	飯田・河村	9	児童福祉施設職員指導者研修 子どもの虹情報研修センター			1～ 16 18～ 29	明和学園短期大 学 育英短期大学	1名 1名
10				職員・児童健康診断 避難訓練 群養協サッカー大会	新道・阿由葉		関東ブロック 児童養護施設職員研修会 チームが「キャリアアップ」研修 ブロック別児童福祉施設 給食関係者研修会	関東ブロック児童養護施設協議会 県社会福祉協議会 関東ブロック児童養護施設連絡協議会		5～ 2/3 25～ 11/8	東京福祉大学 新島学園短期大 学	1名 2名
11		第3回理事会		虹の会総会 避難訓練 交流ハイキング 消防用設備総合点検	原口・上野		全国施設長研究協議会 群養協第2回職員研修(新任) 関東ブロック事務職員研修会	全国社会福祉協議会 群馬県児童養護施設連絡協議会 関東ブロック児童養護施設連絡協議会		15～ 28	立正大学	2名
12		全体会議 法人内職員研修		開園記念行事 避難訓練 クリスマス会 七五三のお祝い 児童外食 国立赤城青少年交流の家 冬季休暇特別日課 冬季一時帰省	宇津木・遠藤		施設福祉OJT担当者研修 福祉施設キャリアパス管理者研修 全国秋季セミナー	県社会福祉協議会 県社会福祉協議会 「人間と性」研究協議会				
1	1	広報誌発行 新年挨拶会	1 1	初日の出参拝・初詣 個人面接開始 避難訓練 希望の集い 未帰省児童外出	進藤・中島		全国児童養護施設中堅職員研修 性教育研究会学術大会 スーパービジョン研修 苦情解決セミナー ファミリーソーシャルワーク研修	全国児童養護施設協議会 性教育研究会 全社協中央福祉学院 県社会福祉協議会 全国社会福祉協議会				
2			1	自立支援計画作成 避難訓練 人権擁護 チェックリスト実施	松本・坂本		群養協第3回職員研修 虐待防止セミナー	群馬県児童養護施設連絡協議会 県社会福祉協議会				
3	31	全体会議 法人内職員研修 第4回理事会 辞令交付		避難訓練 進路進学を励ます会 春季特別日課	高橋・藤生		退職共済事業実務研修	群馬県社会福祉協議会		1～ 13	足利短期大学	2名

※定例行事等

避難訓練、誕生日会、公文、スイミング、茶道

<定例会議>

毎月実施：運営会議(法人)、職員会議、リーダー会議、調理会議、心理担当者会議、ソーシャルワーク会議、公文会議

リスクマネジメント委員会、研修体制検討委員会、性教育委員会、アクションプラン2020検討委員会

個人情報管理委員会、権利擁護検討委員会、人材確保検討委員会、情報公開検討委員会

事務委員会、キャリアパス検討委員会

毎週実施：ユニット会議

その他：納涼祭実行委員会